

平成25年度第1回内灘町地下水採取規制審議会 議事録

◆日 時◆平成25年5月13日（月） 午前10時から午前11時まで

◆場 所◆内灘町役場 408会議室

◆出席者◆

- ・委 員 池本会長、北野委員、松岡委員、坪内委員、川辺委員、越田委員、松川委員、長丸委員の計8名
- ・事務局 中宮環境政策課長、福島課長補佐、夷藤主事の計3名
- ・コンサルタント (株)利水社 真田氏、小川氏

1. 開 会

2. 議 件

(1) 井戸設置許可申請に係る諮問事項

案件①

主に以下の内容について説明

- ・井戸設置許可申請について
- ・地下水シミュレーションモデル（井戸掘削に伴う影響予測評価）について

委 員 揚水コストとはなにか。

利水社 地下水を採取すると水位の低下が起こる。これをくみ上げるにはより多くのコスト（電力）が必要となる。

委 員 井戸が枯渇してしまう危険があるのか。

事務局 井戸の水位は低下するが枯れるおそれはないと思われる。

会 長 周辺の井戸で最も影響があるのは金沢医科大学内の既存井戸ということか。

事務局 そうです。

- 委員 金沢医科大学周辺の井戸には、影響はないということか。
- 事務局 全く無いわけではないが、影響は少ない。
- 会長 揚水能力が既存井戸の約2倍の1.0 m³となっているが揚水量を増やす必然性はあったのか。
- 事務局 医科大では既存の消雪範囲に加え、将来的に消雪範囲の拡大を計画している。そのため、予定している揚水量が大きくなっている。
- 委員 井戸は400mも掘らなければ水は出ないのか。
- 事務局 以前は水量の多い150mから200m深程度の帯水層から取水するため多くの井戸が掘られ、現在も主に消雪用として稼働している。しかし、地盤沈下への影響が大きくなってきたので、今では影響の少ないより深い層からの取水を指導している。
- 委員 将来的に消雪範囲が広がり、揚水能力のより高いポンプに変更した場合のシミュレーションはされているのか。
- 事務局 ポンプの吐出口が大きくなる場合は、当該井戸の変更申請が必要となる。
- 会長 この申請井戸に関しては既存井戸のつけ替えということであり、環境への影響を考慮し深い所からの取水へ切り替えたことは評価できる。民間事業者ではあるが、病院という公共性の高い施設のため、許可は妥当であると考えている。ただし、付帯条件に公共性の高い施設のため認めたという文言を加えてほしい。
- 事務局 そのような文言が入った答申案を作成したい。
- 会長 病院の方でも地下水を利用した融雪以外の方法も検討してくれればさらに良いと思う。では、この申請井戸に関しては付帯条件をつけて許可ということによいか。
- 委員 異議なし。

案件②

主に以下の内容について説明

- ・井戸設置許可申請について
- ・地下水シミュレーションモデル（井戸掘削に伴う影響予測評価）について

会 長 先ほど審議した金沢医科大学の井戸と同時に稼働させた場合のシミュレーションは行っているのか。

利水社 そのシミュレーションは行っていないが、二つの申請井戸は取水する層が一部異なっているので影響は少ないと思われる。

会 長 前回申請のあった松任宇ノ気線 1 号井戸と同時に稼働させた場合のシミュレーションは行っているのか。

利水社 同時に稼働させた場合お互いに影響しあい、1 号も 2 号も稼働していない状態と比べて揚水コストは第三帯水層では C 判定となり、許容範囲内である。設置者も 2 本同時に動かした場合を想定して、井戸の設置場所を決定している。

会 長 同時に稼働させた場合、その周りの井戸への影響はどうなっているか。

利水社 同じ帯水層では町武道館の井戸が最も近くに位置しているが、その影響は最大で 1 年間に 40 cm 程度の一時的な水位低下を引き起こすと考えられる。

会 長 地盤沈下について累積ではどうしても D 判定となってしまうが、どの程度許容できるのか。

利水社 単純に計算して累積での判定が E 判定となるまで、今回の影響力の井戸ならば数十本程度掘ることができると思われる。
ただし、浅い層からの取水なら影響は大きいことも考慮しなくてはならない。

会 長 今回の申請は地元住民からの要望の高い井戸であり、またお互いに影響があることを承知しながら、稼働時に調整をしていく予定だということなので、条件付きの許可ということによいか。

委 員 異議なし。